

# Interface

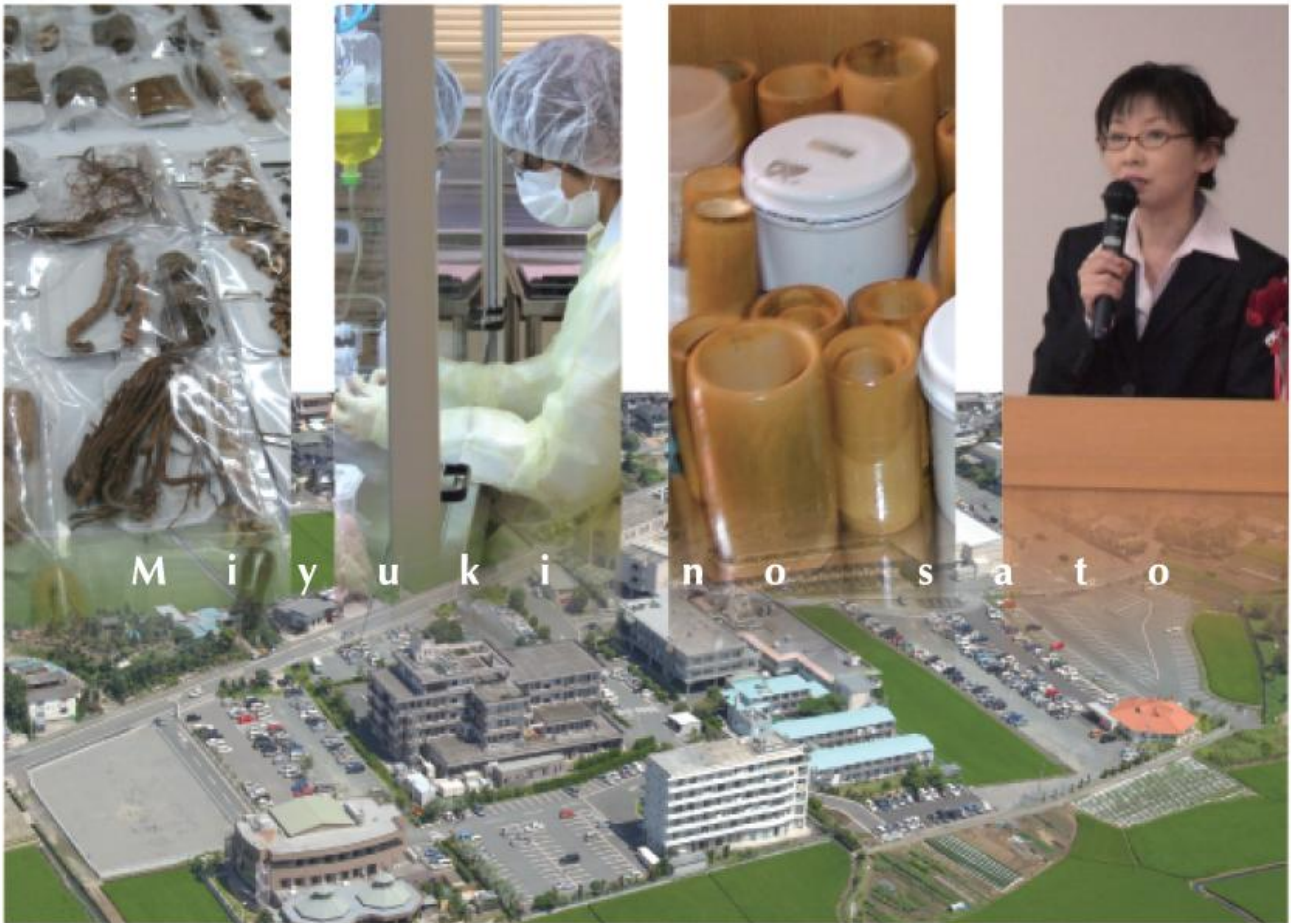
MIYUKI HOSPITAL MAGAZINE

インターフェイスとは「つなぐ部分」のこと、この広報誌を皆様とのつながりのきっかけにしていきたいと考えています

御幸病院広報誌  
【インターフェイス】



2010.  
New year  
Vol. 9



M i y u k i n o s a t o

●特集

“薬”を通して患者様と向き合う。  
安心して安全な医療の現場で  
開かれた薬局づくり

- 中国を訪問しました
- 統合医療 ●ドクターズ コラム
- 和楽ってこんなところ! ●今後の行事予定
- ニュースリリース ●担当医表

健康・福祉21



ごあいさつ



医療法人 博光会 理事長  
**富島 三貴**  
Miki Tomishima

新年、明けましておめでとうございます。

御幸病院広報誌インターフェイスも今回で9号、早2周年を迎えました。この2年の間にも、病院機能評価の認定更新、回復期リハビリテーション病棟増設を含む病棟再編成に取り組んでまいりました。その中であって、毎号ご寄稿いただいている連携先医院の先生方、そしてこの広報誌をお届けしている皆様に、要わらぬご理解とご支援を頂けたことこそ、何にも代えがたい御幸病院の財産ではないかと思えます。今後も「インターフェイス」を通して顔の見える連携に繋がりますことを願っております。引き続き本年もどうぞ宜しくお願いいたします。

さて、今回の特集は「薬局」です。御幸病院及びみゆきの里では統合医療の推進に取り組んでいますが、その中でも漢方薬の活用は大きな柱の一つです。御幸病院の豊永薬局長は漢方薬・生薬認定薬剤師の資格を取得したり、御幸病院と友好関係にある中国の南京中医药大学への訪問メンバーに参加する等、漢方の取組みを積極的に推進しています。また、薬局のスタッフ全員が熊本禁煙推進フォーラムに参加しており、この面でも御幸病院を牽引しています。御幸病院薬局の取組みを一部ご紹介させていただきます。

みゆきの里グループ

◆軽費老人ホーム 富貴苑

◆ケアハウス ピオニーガーデン  
◆特別養護老人ホーム みゆき園

◆ウェルネススクエアー 和楽  
◆小規模多機能ハウス ほがらか

◆介護老人保健施設 ぼたん園  
◆レストラン ピオサルーテ

# “薬”を通して患者様と向き合う。 安心して安全な医療の現場で開かれた薬局



御幸病院薬局スタッフ

## 身体全体の調和を図る漢方治療を、 統合医療に取り入れて

患者様に寄り添う医療に取り組む御幸病院が特に力を入れている「統合医療」。最新の西洋医学と合わせて、代替医療と言われる東洋医学やアロマセラピー、薬膳なども、ご要望に合わせて積極的に取り入れています。

御幸病院では、患者様それぞれの身体の声聞いて、全人的・全身的な治療を目指し、漢方薬の処方を行っています。「漢方薬はきちんと飲み続けることで薬効が期待できるお薬。その方にとって飲みやすいタイミングを指導したり、飲みやすくなるような工夫をしています」と、漢方薬・生薬認定薬剤師でもある豊永薬局長。「薬草自

体の苦みや香りがどうしても苦手という方も多いので、味を工夫したり、形状を変えたりして、漢方薬をいかに飲みやすくするか。それが今の研究課題です」

## 薬剤師はお薬の交通整理役。 徹底管理で医療の安全を確保

御幸病院は医療安全確保のため、「情報の共有化」を行っています。「入院中に患者様が飲まれるすべての薬は、担当薬剤師がチェックします。入院時に持参される薬、サプリメント、漢方薬など、治療のための薬と飲み合わせもありますから、全ての医療スタッフが把握しておくことが不可欠です」チーム医療に取り組む御幸病院の体制を活かし、患者様の回診にも同行したり、何のために飲む薬なのかや、取り扱いに注意が必要な薬の説明などを、薬剤師がベッドサイドまで出向き指導しています。

他にも、すべてのスタッフが服用薬の種類を把握できるようにシールで色分けをしたり、点滴薬のミキシングは看護師が病棟で行うのではなく、薬剤師が無菌ルームで作業をしたりと、細やかな配慮が随所に見られます。

また、薬についての安全や副作用等の専門的な知識や、サプリメントについてなどの情報を、院内にも積極的に配信。スタッフの質の向上にも貢献し、日々患者様の安全を確保しています。

M i y u k i n o s a t o



無菌ルームでのミキシングの様子



御幸病院で使用している漢方薬



「たばこの害について」の講演

# づくり

## これからは禁煙も病院で。 正しい指導で成功率アップ

禁煙指導薬剤師でもある豊永薬局長は「当院では外来での禁煙相談も受けています。無理なく煙草を止められるように、薬剤師の立場でその方に合った禁煙指導を行っています。病院を相談窓口として利用し、ニコチンパッチやタブレットなどは薬局で購入する方法もあります。まずはお気軽に御相談下さい」とアドバイス。

そしてクリーンな環境で患者様に過ごしていただくため、敷地内は完全禁煙です。ポスターの掲示や禁煙レストランの紹介など、病院を挙げて啓蒙活動に取り組んでいます。

## 御幸病院からのご挨拶

御幸病院薬局長  
豊永 英津子



御幸病院で薬剤師として勤務して、今年の3月でちょうど7年になります。着任当初、薬剤師3名、薬剤助手1名だった御幸病院薬局も、現在では薬剤師5名、薬剤助手3名となりました。その分、業務も増えまして日々目の回るような忙しさですが、そんな中でも無事7年間を過ごしてこることが出来たのは、患者様とご家族をはじめ、地域の皆様のご理解とご協力の賜だと、心より感謝しております。

御幸病院薬局の特色としては、まず漢方薬の活用があります。当院では統合医療の実践を目指していますので、私達薬剤師も西洋薬だけでなく、漢方薬にも精通している必要があります。そのため、平成19年に私豊永が漢方薬・生薬認定薬剤師の資格を取得いたしました。また、昨年には中国・南京中医薬大学への訪問メンバーにも参加し、本場中国の病院での、漢方薬利用の現状を視察してきております。

さらに、薬局全体で取り組んでいるのが「禁煙」です。薬局スタッフ全員が熊本禁煙推進フォーラムに参加しており、みゆきの里の各施設や地域において、「たばこの害について」という講演を行っています。他にも熊本禁煙推進フォーラムのホームページでは、禁煙を実施している飲食店を紹介する「禁煙飲食店食べ歩き」というコーナーにも、調査員として体験レポートを投稿しております。

患者様に対しては、ご本人の病状と体質に合わせ、医師が処方した薬剤を適切に服薬していただけるよう、可能な方にはお一人お一人に服薬指導を実施しています。昨年、当院は介護療養病棟を回復期リハビリテーション病棟に転換したため、服薬指導を実施しても診療報酬のない病床も増えました。ですが、患者様及びそのご家族のご希望や、安全な服薬のためにも、服薬指導を行っています。

病院職員についても、DIニュース・サンクスレター等の文書を定期的に発行し、部署内で閲覧してもらうことで、副作用等薬剤の安全性についての情報発信や、事故につながりかねない事例等についての周知を行っています。

これからも、医師や看護師等の現場スタッフ、栄養課・リハビリテーション室等のメディカル、事務職員などとも密な連携を取りながら、チーム医療の一員として患者様中心の医療が提供できるよう、頑張っていきたいと思っております。御幸病院薬局を、今後ともよろしくお願い致します。

## 統合医療 —みゆきの里の取り組み—



御幸病院顧問  
老人保健施設ばたん園施設長  
江頭 洋祐

### 「統合医療の現政権マニフェスト」

先般の総選挙で民主党による政権交代が実現したが、その民主党のマニフェストの中の「医療政策詳細版」には「統合医療の確立ならびに推進」ということが項目として明確に掲げられている。「漢方、健康補助食品やハーブ療法、食事療法、マッサージ、鍼灸、柔道整復、音楽療法といった相補・代替医療について疾病予防の観点から統合医療として科学的根拠を確立します。アジアの東医関という地理的要件を活かし、日本の特色ある医療を推進するため、専門的な医療従事者の養成を図るとともに調査・研究の機関の設置を検討します」と統合医療に対してかなり前向きな姿勢が打ち出されている。

しかし、最近、国家予算の圧縮削減のための仕分け作業の場で、漢方薬の保険適応除外という提案が出され、漢方処方医師や服用中の患者さん達に大きなショックを与えた。その案に対しては直ちに多くの反対の声や数十万人の署名が提出されたこともあって厚労省の長妻大臣によって一応見送りの判断が出されたのはマニフェストとの整合性からしてもむしろ当然のことと考えられる。

統合医療に関しては、中国はもとより、韓国、台湾などのアジア諸国、またアメリカ、ヨーロッパなどの多くの国々で、国民の健康推進政策の中で施療のシステムや研究機関の整備が着実に進められつつある。こうした国際的な情勢から見ても、わが国において国民の健康増進、疾病予防に役立つ統合医療への取り組みが疎かにされてはならないことは当然である。わが国でも最近、各地の大学病院をはじめ、大病院で漢方外来など統合医療に関する窓口や体制を整備する動きが見られるようになりつつあるのは歓迎されることである。

## 中国を 訪問しました!



平成21年10月14日から17日にかけて、御幸病院のスタッフが統合医療の研修のため、中国・南京を訪問しました。参加者は富島理事長をはじめ、鈴木医師・王研究員・山下師長・豊永薬局長・稲田事務長と、実際に診療にかかわる職種を中心としたメンバーで、現場レベルでの交流を期待しての研修となりました。

一行はまず15日午前、南京中医薬大学を訪問。御幸病院と南京中医薬大学とは、平成16年に当時の学長と教授2名がみゆきの里を訪れられ、友好関係を結んでいます。その後も、漢方薬の共同研究等の交流を行ってまいりましたが、この度は新しい学長へのご挨拶も兼ねての視察となりました。

訪問した日は、南京中医薬大学の創立55周年にあたるということで、みゆきの里のスタッフの来訪はこのほか歓迎されたようです。一行は新学長の〇勉〇教授と会見、今後より一層の友好・協力関係を約束し、双方より記念品の贈呈が行われました。

午後からは同大学の模擬病院(モデル病院の意)を訪問。平成16年にみゆきの里に来訪された教授のお一人、王玲玲教授の実習室を見学しました。この実習室ではインフルエンザに対するお灸の効果を研究しているとのこと、他にも、同大学では末期がんや難治性の慢性便秘等に対するお灸の効果も研究されていました。模擬病院の管理はすべて同大学の学生さんたちの手によって行われており、学生はこの病院で鍼灸・按摩・リハビリ・美容などの手技を学んだり、研究したりしているそうです。

翌16日には、江蘇省中医院を訪問。ここは統合医療の病院としては中国最大規模で、300人のDr.を含め医療スタッフ数が約2,000人、1,000の病室に2,000床のベッドがあり、外来には一日1万人が受診に訪れるそうです。これでも、江蘇省1,400万人に医療を提供するには不足で、現在さらに2,000床の新病棟を建設中とのことでした。

院長の劉沈林教授の説明によると、中国も高齢化の影響により慢性疾患患者さんが増加し、それに伴って漢方薬の需要が増えているそうです。病棟の見学もさせていただきましたが、院内に西洋薬と漢方薬の両方の薬局があり、両方の薬を服用している患者さんも多いとのこと。また、中国でも美容に対する関心が高まっており、院内の美容外科には多くの患者さんが受診に訪れていたそうです。

16日午後には養生館を見学。これは中国政府の「未病を治す(病気になる前に予防する)」方針に沿って、各地域に設置してある施設。利用者はここでサウナのようなお風呂、マッサージ、お灸、呼吸法などのサービスを受け、最後にお茶を飲んで体調を整えるそうです。御幸病院のスタッフもこれらのサービスを体験し、お茶を飲みながら自分の体の不調なところを示唆されたとのことでした。

足かけ4日間に渡る中国訪問で、御幸病院のスタッフはそれぞれ、統合医療の今後や東洋医学の新しいビジョン、疾病予防の重要性など、多くのことを学んできたようです。御幸病院では今後、今回の学びを実際の診療に生かすことで、ご利用者の皆さんに還元していきたいと考えています。

## Doctor's COLUMN ドクターズ コラム ターミナル・ケアの場でも禁煙を



たかの呼吸器科内科  
クリニック 院長

高野 義久 先生

たかの呼吸器科内科  
クリニック  
〒866-0884  
熊本県八代市松崎町147  
TEL: 0965-32-2720

不治の病になったとき、医療者も家族も「命はあとわずかだから、あとは本人の好きに」と考える。がん末期の方が、喫煙者であれば「タバコは好きに吸ったらいい」となる。「どうせ死ぬんだから」という言葉もでる。実は私もそのように考えていた。

最期を看取った肺がんの老人は死ぬまで喫煙していた。縁あってこの方の妻を診ることになり、ある日往診に向かい。仏壇からタバコの臭いがプーンとしてきた。亡くなった老人の仏壇にはタバコが供えられ、線香の代わりにタバコが立ててあり、それに火がつけられていた。その人の命を奪ったタバコであるのに。妻に聞くと供養のため、親戚がつけていったと言う。妻は夫が死んだ後にも受動喫煙を受けていた。

同じような経験をすることが幾度かあった。「知らないことの怖さ」も理解し始めた。末期状態だからという理由で、何でもかんでも「自分の好きにする」という考えそのものが間違っていたのではないかと思うようになった。

人はその体がなくなっても、残された人の中で「生きる」。法事も供養もその1つだし、人の生き方にも影響を与える。私はターミナル・ケアにおいて、残された時間を「好き」にすることをできるだけ認めたいと思う。しかし、この「好きにする」ことの中で、喫煙だけは異質である。喫煙はその人が病気になった原因である(ことが多い)。さらに、喫煙はニコチン依存という脳の病気(薬物依存)である。「好き」で吸っているように見えるが、ニコチンの虜になっているだけである。ニコチン依存の状態

亡くなった方に対して、それを知らない家族は「好き」で吸っていたと「思い込み」、棺桶にタバコを入れ、亡くなった後にもタバコで故人を供養する。事もあろうに、その人を「殺した(かもしれない)タバコ」で供養するのである。残された家族が受動喫煙にさらされることもある。喫煙者の家庭の子や孫は喫煙者になりやすいという。喫煙者に聞くと、ほとんどの人は、自分の子や孫には喫煙してほしくないという。故人は墓場の陰から、家族の受動喫煙や子孫の喫煙開始をどう見るだろうか。

最近ではターミナル・ケアの場でも、いやターミナルであるから「こそ」、患者さんに禁煙を呼びかけている。最期のときに「禁煙」という一大事業にチャレンジしてもらおうと、家族の見方が変わる。禁煙の大変さを話すと益々尊敬される。尊敬される仏様になる。仏壇にタバコが供えられることもなくなり、子や孫が喫煙者になる危険性も減る。

孔子は「七十にして心の欲する所に従って矩(のり)を踰(こ)えず」と言った。「好き」にしても規範から逸脱しない境地に至ったそうである。この理想的で自制的な境地と、タバコをニコチン禁断症状の渴望のまま「好き」に吸うことは明らかに違うと思う。

「どうせ」という言葉によい意味合いはない。投げやりな心理が隠れている。これから仏様になるろうとしている人だから「こそ」禁煙し、ニコチンへの囚われの身から開放されて、極楽浄土へ逝ってほしいと思う。

# 特集 和楽 WAKARU 楽って こんなところ!

ウェルネス  
スクエア

Vol.9



## 「福祉・介護サービス チャレンジ教室」 第2回開催

平成21年11月28日(土)、ウェルネススクエア和楽において、「福祉・介護サービス チャレンジ教室」が開催されました。これは介護や福祉のサービスを皆様により実感していただくため、熊本県より支援を受けてウェルネススクエア和楽が開催する、介護に関する体験型学習教室です。平成21年度中に、計4回の開催を予定しております。

第2回目となる今回の教室では、「衣服の着脱の介助」がテーマ。御幸病院リハビリテーション室の黒土室長(理学療法士)や矢羽田作業療法士らが講師となり、スライドによる講義と実技の指導が行われました。着脱介助の手順と注意点について講義を受けた後、受講生の皆さんは二人一組になって、互いに着脱の介助を行う実技指導を受けられました。皆さん、不慣れな作業に戸惑いや驚きの声を上げられながらも、真剣な様子で取り組んでおられました。



今後の  
予定

- ◆第3回教室 平成22年1月23日(土)  
入浴介助 お風呂場の便利グッズを使った実践など
- ◆第4回教室 平成22年2月27日(土)  
食事介助 高齢者向け食事・とろみ食品・便利グッズを使った実践など

●参加料金:無料 ●定員:30名程度  
※第3回教室へのお申し込みは、定員に達したため終了いたしました。第4回教室の定員も残り僅かとなっております。  
詳細につきましては、担当者までお問い合わせください。

お問い合わせ:熊本市御幸苗田町西宮前1202  
ウェルネススクエア和楽 トレーニング室  
TEL:096-370-2244 FAX:096-370-6166 担当:竹尾

## 田園キッチン料理講座のお知らせ



もうすっかりお馴染みの、田園キッチン料理講座。今年も田園キッチンの東島料理長が、皆様においしくて体に良い料理の秘訣をお教えいたします。

- ◆期日:平成22年1月23日(土)10:00~11:30
- ◆場所:ウェルネススクエア和楽3階 研修室3

### 第1部「身体を内側から温める野菜と調理法」

寒い冬を元気に乗り切るために温まる調理理論をご紹介します。

### 第2部「山菜鍋」

山の菜と書いて「さんやく」と読みます。山菜とは山芋のことです。山芋で鍋料理! ご紹介いたします。

- ◆参加費 1,500円  
(お昼のバイキング+フリードリンク+もちろん試食付)  
筆記具持参でお願いいたします。

お問い合わせ:熊本市御幸苗田町西宮前1202  
健康増進・老人福祉センター  
ウェルネススクエア和楽 TEL:096-370-2244

## BIO SALUTE からのお知らせ



お問い合わせはBIO SALUTE 096-284-3715まで

## BIO SALUTEの新グランドメニュー

平成21年11月1日より、BIO SALUTEのグランドメニューが変わりました。「オーガニック」「身土不二」などの基本コンセプトは変わらず、皆様に喜んで頂けるよう、新メニューやグループでご利用しやすいシェアコースを、リーズナブルな価格でご用意しました。

### 【ランチ】

マクロビオティックプレート……¥1,050  
コース……¥1,280~

※これらはメニューの一部です。これ以外のメニューに関しましては、出来る限りご要望にお応えします(要:予約)

### 【ディナー】

エイジレスコース(野菜中心)……¥4,200  
シェフズコース(お肉・お魚など9皿)……¥5,250  
シェアコース(2名様より)……お一人様¥3,150  
アラカルト(単品)前菜……¥530~  
パスタ……¥890~

各事業についてのお問い合わせなどは、和楽総合受付(096)370-2244まで、お気軽にお尋ねください。

## ■ 今後の行事予定 Event schedule

3月1日 みゆきの里創立記念日



「昨年の式典で表彰された永年勤続者」

## ■ 担当医表 Charge medicine table

	月	火	水	木	金	土
午前	津出 長尾	吉田 江頭	金沢	川野 長尾	吉田	担当医
午後	本田	本田 長尾 和田山	高野	高野 長尾	津出 江頭	

・王研究員の漢方相談：毎週月・水・金の午前・午後  
毎週木の午後 第2・第4火・土の午前

長尾名誉院長	外科(鍼灸漢方)・健康相談を担当します。
吉田院長 津出診療部長 川野内科医長 本田医師 高野医師 金沢医師	内科を中心として、種々の診療を担当します。
和田山医師	整形外科を担当します。
磯貝ホスピス医長 鈴木医師	緩和ケア病棟を担当します。
江頭医師	呼吸器・アレルギー疾患・心療内科を担当します。
田川医師	歯科を担当します。

- リハビリテーションの担当医：川野、吉田、津出、金沢
- 緩和ケア病棟への入院相談 月～土 8:30～17:30(随時)  
相談窓口：医療連携室

## ■ ニュースリリース News release

### みゆきの里地域懇話会・ボランティア交流会開催



11月19日(木)、ウェルネススクエア和楽にて、みゆきの里地域懇話会並びにボランティア交流会が開催されました。この催しはみゆきの里の各施設が普段からお世話になっている地域の皆様やボランティアの方々をお招きし、日頃の感謝の気持ちを表すために毎年開催しているもので、今回で8回目となります。

当日は地域の皆様とボランティアの方々、合わせて約70名をお迎えし、みゆきの里の職員を加え約120名の参加となりました。

お集まりいただいた皆様に対し、まず富島会長が開会の挨拶と、地域並びにボランティアの皆様に対する感謝の意を述べ、続いて来賓の方々を代表して、中原隆博県議よりご挨拶を賜りました。

さらに、みゆきの里の各施設長よりご挨拶を申し上げた後、御幸病院の豊永薬局長による、「たばこの害について」と題した

講演を行いました。みゆきの里は敷地内禁煙となっておりますが、なぜ喫煙は体に悪いのか?無理なく禁煙するにはどうしたらよいか?といった基本的なことを丁寧に説明する内容に、お集まりいただいた皆様もしきりに頷かれていたようです。

講演が終わると、田園キッチンの東島料理長が腕を揮った料理をいただきながら歓談。この催しのお食事は例年、おいしくて体に良い菜膳を取り入れたメニューや、みゆきの里全体で取り組んでいる「命を支えるスープ」などが取り入れられており、今年も大好評でした。皆さん、おいしい料理に舌鼓を打ちながら、楽しく交流を深めておられたようです。ひとしきり楽しんでいただいた後は、富島三貴・医療法人博光会理事長から、お集まりいただいた皆様にお礼の言葉を申し上げ、終了となりました。

みゆきの里では今後も、日頃から各施設に理解とご協力をいただいている、地域の皆様及びボランティアの方々に、感謝の念を伝えて交流を深める機会として、この催しを続けていきたいと考えています。

私たちは、地域の人々、利用者ご家族の幸せを願い、保健・医療・福祉の総合力を発揮して、健康生活のベストパートナーとなることを目指します。



医療法人博光会

## 御幸病院

### 【診療科目】

内科・消化器内科・呼吸器内科・循環器内科・心療内科・神経内科・漢方内科・アレルギー疾患内科・小児科・リハビリテーション科・歯科・麻酔科(ペインクリニック) [医師：岡崎止雄]

### 【診療受付時間】

平日 午前8時30分～午後5時  
土曜 午前8時30分～午前12時

※但し急患は何時でも受け付けます。



- 緩和ケア病棟：20床
- 一般病棟：30床
- 回復期リハビリテーション病棟：85床
- 医療療養型病床：51床
- 併設：訪問看護ステーション「みゆきの里」

発行/医療法人博光会 御幸病院  
〒861-4172 熊本市御幸苗田6-7-40  
TEL.096-378-1166 FAX.096-378-1762  
メールアドレスinfo@miyukinosato.or.jp  
編集/株式会社 啓

詳しくはホームページをご覧ください

<http://www.miyukinosato.or.jp/>